

## 工学部教室系技術職員研修（第11回）実施要項

### 1. 目的

教室系技術職員としての立場と責務を自覚させるとともに、大学における技術職員全般への視野を養い、自己啓発、相互啓発の機会を与えることにより、職員としての資質の向上及び新技術の習得を図る。

### 2. 対象者

工学部教室系技術職員全員

（超高压電子顕微鏡センター、ラジオアイソトープ総合センター及び大学院情報科学研究科のうち工学部に勤務する者を含む。）

### 3. 期間

平成14年8月20日（火）～平成14年8月22日（木）

### 4. 場所

大阪大学附属図書館吹田分館視聴覚ホール

### 5. 日程

別紙のとおり

### 6. 研修テーマ

工学部教室系技術職員による技術の継承、発展及び開発について

### 7. 研修方法

①基調講演及び講演

②学外施設見学（財団法人高輝度光科学研究センター SPring8）

③専門分野等によるグループ又は個人単位によりテーマを設け、研究成果の発表を全体研修の場で行う。

（発表は、口頭発表のほか製作物やパネルを展示し、質疑を行うことも含む。）

### 8. 講師

①基調講演講師 財団法人高輝度光科学研究センター  
広報部長／加速器部門主席研究員 原 雅 弘

②講演講師 大学院工学研究科教授 吉 野 勝 美

③技官講演講師 工学部技術専門職員 大 前 政 博  
工学部技術専門職員 久 保 等

### 9. 研修のまとめ

研修終了後、報告集を発行する。

### 10. 経費

受講者の研修に要する経費は、工学部の負担とする。

なお、懇親会費は受講者の負担とする。

### 11. 研修の記録等

研修を修了した者には修了証書を交付し、その旨人事記録に記載する。

### 12. 研修担当掛

工学部総務課人事掛 （内線7207・7208）